

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年2月分：速報)

<対世界>

- 輸出総額:6,689 億円(伸率:▲0.5%) ⇒ 3か月ぶりのマイナス
 - ・順位:68位、2月としては5位
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(506か月、2月は43か月)による。以下同じ。)
 - ・減少品目:半導体等電子部品(同▲15.1%)、半導体等製造装置(同▲9.0%)
- 輸入総額:4,665 億円(伸率:+0.9%) ⇒ 23か月ぶりのプラス
 - ・順位:171位、2月としては12位
 - ・増加品目:液化天然ガス(同+43.1%)、石油製品(同+17.6%)
- 差引額:2,024 億円(伸率:▲3.7%) ⇒ 74か月連続の輸出超過
 - ・順位:16位、2月としては3位
 - 為替レート:2021年2月:104.50円/ドル(2020年2月:109.50円/ドルと比べ4.6%の円高)

<品目別動向>

○輸出

半導体等電子部品(690億円→586億円、伸率:▲15.1%)は、香港(275億円→186億円、同▲32.4%)及びベトナム(140億円→66億円、同▲52.7%)向けが減少し、2か月連続のマイナスとなった。また、半導体等製造装置(515億円→469億円、同▲9.0%)は、韓国(333億円→304億円、同▲8.6%)及び中国(131億円→117億円、同▲10.9%)向けが減少し、11か月ぶりのマイナスとなった。

一方、自動車(1,644億円→1,869億円、同+13.7%)は、アメリカ(484億円→628億円、同+29.8%)及び中国(549億円→596億円、同+8.6%)向けが増加し、4か月ぶりのプラスとなった。

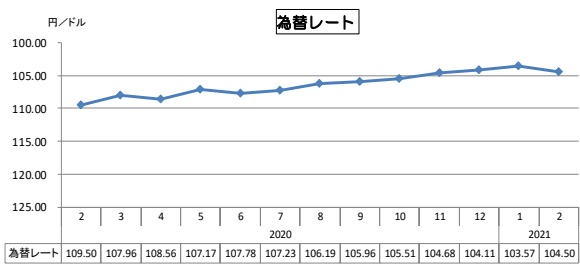
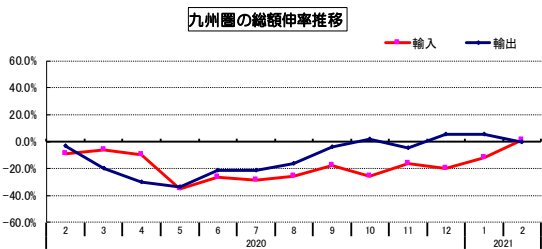
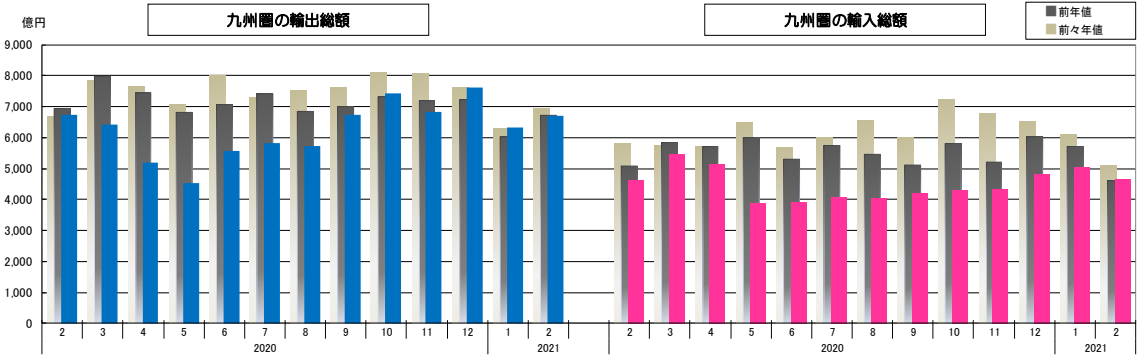
○輸入

液化天然ガス(25万MT→35万MT、伸率:+39.1%、136億円→194億円、同+43.1%)は、数量、価額ともに増加し、2か月連続のプラスとなった。また、石油製品(281億円→331億円、同+17.6%)は、バーレーン(実績なし→48億円)及びアラブ首長国連邦(42億円→77億円、同+83.6%)からが増加し、12か月ぶりのプラスとなった。

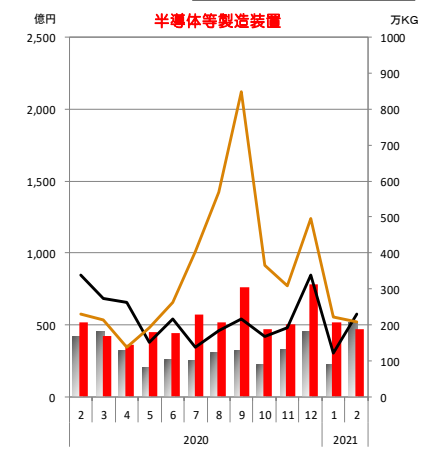
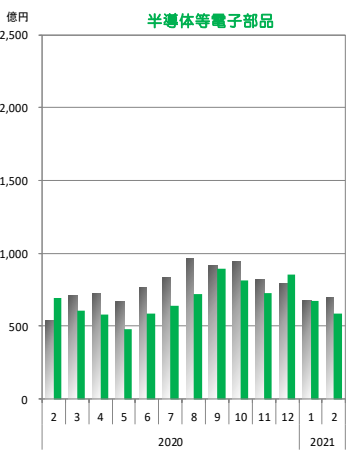
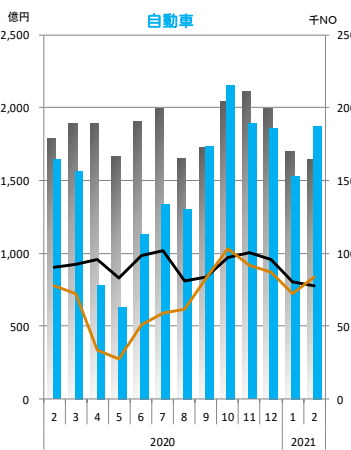
一方、原粗油(241万KL→164万KL、同▲32.1%、1,169億円→602億円、同▲48.5%)は、数量、価額ともに減少し、11か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

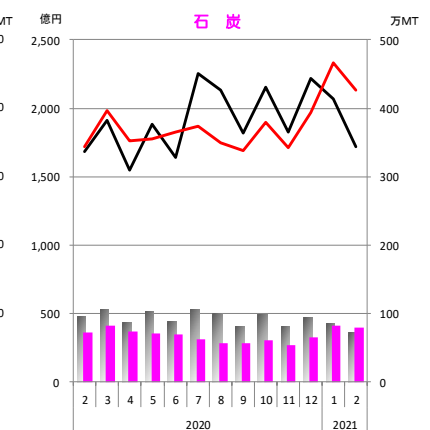
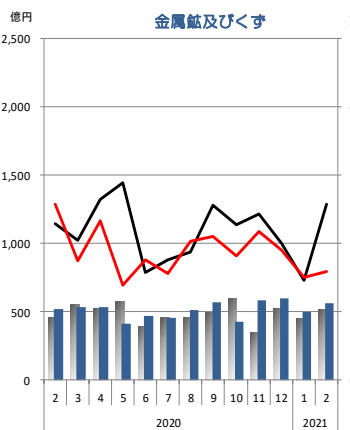
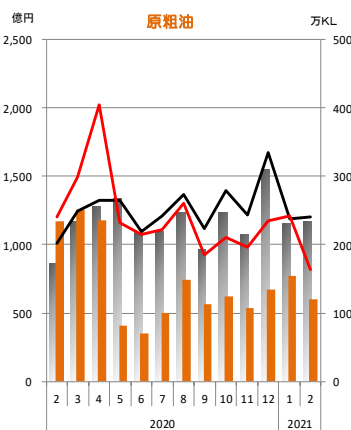
令和3年2月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。